

子どもも輝く宮っこ

給食で「地産地消」を学んでよ!



「食育の森」での収穫体験
給食委員が収穫した果物は給食室で調理され、給食として提供されます。



「仲間作りの森」でのチームビルド
学級開きや部活動などで活用して、チームワークを築きます。

清原の杜での体験活動

校内林で体験学習 「清原の杜」で育む、 知・徳・体!

清原中学校では、平成21年度から「地域の宝(環境・人材)」を活用して地域の宝(生徒)を育てる環境教育をテーマに掲げ、環境緑化活動を実践しています。「清原の杜」は平成22年度、学校の敷地内にある学校の林の特徴に合わせて設定された「野生の森」「水辺の森」「山野草の森」「地域の森」「食育の森」「仲間作りの森」「野鳥の森」「生命の森」「季節の森」の9つのゾーンの総称です。生徒達が緑化活動を通して体験から学びを引き出す場であり、地域の方との交流の場でもあります。

この9つのゾーンは、教科の学習、学級や部活動の人間関係作り、生徒会や委員会のイベント、部活



「野生の森」での俳句作り
教室ではなく、森の中で作った俳句には、自然を表す言葉があふれています。



「季節の森」でのハーブ栽培
生徒手作りの「ドライハーブ」を、文化祭でプレゼントしています。



「清原の杜」シンボルツリー
正門に設置したシンボルツリーには地域の宝(人材)の気持ちが詰まっています。



ホタル(幼虫)の放虫
平成22年からの2年間、地域の方が育てた幼虫と川蛭を生徒の手で池に放流。なんと今夏は自然発生しました!

地域の宝(人材)と交流

歩きやすくなったよ!



ウッドチップロード作り
地域の方が危険木を伐採して加工したウッドチップを、生徒が林道に撒きました。



水生植物の植え込み
地域の方から寄贈を受けた水生植物を、生徒と一緒に校内の池に植え込みました。

「清原の杜」が実現するまでには、危険木を伐採してウッドチップに加工し、りんこの木等の植樹、ホタルの放虫等、PTAや地域協議会、地域有志の方から多大な協力をいただきました。

地域の宝(環境・人材)の協力でできた「清原の杜」を活用するだけでなく、除草したり、施設の整備をしたりするなど、中学生が自分達自身で、「杜」を守っています。こうした活動を通して、地域の宝(生徒)は着実に育っています。

今後は、「この「杜」を活用して、地域のお年寄りや小学生との交流を行っていきたいと思います。」

この取組は、「平成23年度 全日本学校関係緑化コンクール 学校環境緑化の部」で高い評価を受け「準特選」を受賞することができました。この喜びを「清原の杜」にかかわった全ての方と共有したいと思えます。

全国大会で活躍する自信はありましたか?
全国レベルを意識して練習していたので、県大会から手がこたえは感じていました。新田ウォーリアーズは厳しい練習よりも、毎プレーを楽しむことをモットーとしているので、監督としては、もうちょっと練習時間を

ラグビーとは何が違うのですか?
1番大きな違いは接触プレーが無いことです。タックルの代わりに、腰につけたタグ(ひも)を取り合います。
すぐに受け入れられましたか?
ルールが単純であること、難しい技術がいらないこと、学年や性別に関係なく全員が活躍できることなどの特色があるので、すぐに受け入れられました。実は今までに途中で辞めた子がいないんですよ。

身近にいたよ!頑張る宮っこ!

3月に開催された、「第8回 全国小学生タグラグビー選手権」で、1,051チームの中から3位に輝いた、「新田ウォーリアーズ」の齊藤誠監督にお話を伺いました。



全国大会出場メンバー 佐藤市長と記念撮影 ※後列左端が齊藤監督

増やしても苦にならないかな? とも思っているんですけどね。
全国で3位になったときの気持ちは?
選手たちはかなりくやしがついていました。でも、1試合ごとの成長を目の当たりにすると、もう、「みんな、よくやった!」以外の言葉が出てきません。褒めてあげたい気持ちでいっぱいでした。
これからの目標は?
ウォーリアーズのさらなる活躍も目標の一つですが、市内のタグラグビーチームをもっと増やしたいと思っています。そのために興味のあるスポーツ指導者や教員対象にも見学・体験を随時受け入れています。当面の目標としては、関東大会に宇都宮市から4チーム出場するくらいの普及を目指しています。

タグラグビーに興味を持った子どもたちへ
タグラグビーの良いところはいろいろあります。先ほど述べました、全身運動による基本的な運動能力の向上や自主性の成長はもちろんですが、1番良いところはなんといっても、チーム一人ひとりがヒーローになれるところです。相手をこめる、かわす、良いパスを出す、毎プレーに選手の個性と得意分野が光ります。全部の選手に輝ける場面が必ず訪れます。ぜひ「チームで楽しく、自分も楽しく」一緒にやりましょう! チームみんなが大歓迎です。

頑張っている宮っ子たちに言
何事にも失敗を恐れずに挑戦してください。恐れは失敗につながりますが、積極的な挑戦は困難を打ち破る「やる気」を呼び、「やる気」は「楽しさ」につながります。「楽しさ」はきつと良い結果を呼びますよ。



新田ウォーリアーズでは、仲間を募集中です。小学生であれば、学区・学年・性別は問いません。毎週土曜の朝7時~9時に、新田小学校校庭で活動しています。費用は保険代金のみ。月会費や保護者の当番もありません。大会には、4~6年生の全員が出場します。見学・体験大歓迎です。ぜひご連絡ください。連絡先:090-4679-2916(齊藤監督)

宇都宮の星★みつけた!

大人も

宇都宮エスパー 第10回受賞者 箏奏者 吉澤延隆さん



今後の活躍が期待される芸術家に贈られる「宇都宮エスパー賞」は、これまでに10人の若手芸術家を見出し出してきました。その記念すべき10人目には選ばれたのは、星が丘中学校出身の箏奏者 吉澤延隆さんです。吉澤さんは7歳から箏を習いはじめましたが、当時は「箏は女の子が演奏する楽器」という思いが強く、周りの友達には箏を習っていることを堂々と見えなかつたそうです。そんな中、吉澤さんの学校のスクールコンサート授業に箏の師匠である和久文子先生がお見えになり、一緒にその場で箏を演奏することになりました。演奏後、吉澤さんの思いとはうらはらに、クラスの皆からは「すごい!」「かっこいい!」と言われ、恥ずかしいという気持ちがつかりなくなり、ますます箏の演奏が好きになったそうです。

そんな吉澤さんは、第15回賞順記念全国箏曲コンクールの最高賞である賞順賞を受賞しました。このコンクールは全国的にも著名なコンクールであり、最高賞を受賞することは、プロの中で最も優れた奏者だと認められたといふことです。

宇都宮市では昨年度から、これまでのエスパー賞受賞者をもつと市民の方に披露する機会をもつと「プロポート事業」を開始しました。この「プロポート」という言葉は「プロデュース(振興)」と「サポート(支援)」を合わせた造語で、エスパー賞受賞者に演奏や作品発表の機会を創出するといった支援することで、宇都宮市の文化振興をすすめていくという思いが込められています。プロポート事

業をスタートするにあたって、受賞者全員に「どんなことをやりたいか?」とアンケートをとつたところ、様々なアイデアがでてきました。その一つが、わくわくグランディ科学ランドのプラネタリウムで開催する「天体とKOTO」プラネタリウム・箏コンサートです。これは、星空を眺めながら箏の音色を聴いてもらいたいと、吉澤さん自身から提案された企画です。プラネタリウムという異空間で聴く箏の音は、コンサートホールで聴くものとまた違った響きを感じられることでしょう。この機会にぜひ、多くの方に鑑賞していただきたいと思ひます。

「天体とKOTO」 プラネタリウム・箏コンサート

日時 平成24年10月27日(土)15時開演
会場 わくわくグランディ科学ランド
(西川田町567)
料金 プラネタリウム入場料として
大人210円、
子ども(小・中学生まで)100円

出演 吉澤延隆(箏十七絃・福田邦智(尺八))
定員 250人、定員を超えた場合は抽選。
対象 小学生以上の方

申込み 往復はがきの往信に、「プラネタリウム・箏コンサート」と明記し、参加希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を、返信に代表者の郵便番号、住所氏名を書き10月5日までに、〒320-8540 宇都宮市教育委員会文化課
プラネタリウム・箏コンサート係まで
その他 定員に達しなかった場合は、当日券を販売します。



★
お客様が帰宅し、
実際の夜空を見上げるまでが
プログラムになっています。
ぜひご来場ください!
— 吉澤延隆 —

新たに文化財を 指定しました

彫刻・絵画・建造物

6月22日に新たに4件の物件が市指定文化財に指定されました。これらについて、宇都宮市文化財保護審議会委員会の北口英雄先生(彫刻・絵画)と岡田義治先生(建造物)に解説していただきました。

「木造男神坐像・木造女神坐像」(二躯、有形文化財彫刻)は、いつ頃誰が作ったものなのですか?

北口 どちらも作者は不明ですが、鎌倉時代末期〜南北朝時代に作られた彫刻と考えられています。この彫刻の特徴や指定された理由などをお聞かせください。

北口 どちらの像も大きさは25センチメートル前後で、杉材により作られています。県内において世の神像彫刻は珍しく、宇都宮市内でもほとんど確認されていません。

また、どちらも小さい像にもかかわらず複雑な技法がとられています。こうした希少性や珍しい技法を評価しました。

「木造ダキ二天騎狐像」(二躯、有形文化財彫刻)も指定されましたが「ダキ二天」って何ですか?

北口 ダキ二天は仏教の神で、インドのヒンズー教の女鬼に由来するといわれています。ダキ二天は江戸時代になると稲荷神(お稲荷様)として信仰されるようになってきたため、近世の狐の彫刻は数多く見られますが、本像のように中



木造ダキ二天騎狐像



木造女神坐像



木造男神坐像

世のダキ二天像は全国的に見ても珍しいものです。また、本像は狐が尾を振り上げて駆ける様子がよく描写されており、躍動感のある優れた作品です。「板絵著色ダキ二天騎狐像」(二枚、有形文化財・絵画)も一緒に指定されましたね。作者や年代は彫刻と一緒に指定されませんが、作風などから南北朝時代のものであると考えられています。



先生方による板絵著色ダキ二天騎狐像の調査

北朝時代のものであると考えられています。ただ、どちらの物件も描写が正確であることから、かなり力量のある仏師や絵師によって作られたと考えられます。

次に、「宇都宮聖ヨハネ教会 聖堂」について教えてください。

岡田 この聖堂は、昭和8(1933)年に、上林敬吉の設計で、初期キリスト教の様式と日本聖公会(英国国教会系)の建築手法により建築されました。鉄筋コンクリート造としては比較的早い時期の近代建築で、内部の骨組みは木造の梁が美しく交差した、「シザーストラス」という構造になっています。全体的に簡素な造りですが、宇都宮市特産の大理石を貼った外壁の仕上げや、角型平面の鐘塔の造りに特徴がある、珍しい洋風建築です。



宇都宮聖ヨハネ教会聖堂

内外部の扉や窓、ステンドグラスなどはすべてオリジナルであり、昭和20年7月の空襲による被害を免れ、今なお建設時の状態を忠実に保つ貴重な建造物です。

貴重な文化財ばかりですね。大切に後世に伝えていこうと思ひます。



「聖堂内部」(シザーストラス)

文化課
☎632-2764